

# 遠泳の歴史に関する研究

## －滋賀県の場合－

松林 空（生涯スポーツ学科 地域スポーツコース）

指導教員 新井 博

キーワード：遠泳，琵琶湖，歴史

### 1. 緒言

ロンドンオリンピックでも日本人選手の活躍が目立ち、幼いころから水泳を習い始める子どもたちが増えてきている。

そういった中で、滋賀県の小学校では以前から琵琶湖での遠泳を実施している。また琵琶湖周辺に位置するB大学においても、水辺実習で遠泳を取り入れ始めた。

それらのことから、琵琶湖での遠泳はいつから、どのように始められ、今日に至っているのか明らかにするとともに、日本全国において、いつから遠泳が実施され、どのように始められたのか明らかにすることを目的とした。

### 2. 研究方法

#### 1) 調査方法

- ・文献調査を実施した。
- ・インタビュー調査を実施した。

#### 2) 文献調査の内容

- ・全国と滋賀県の遠泳を実施してきた様子を歴史的に解明した。
- ・滋賀県の小学校が遠泳を実施してきた様子を歴史的に解明した。
- ・文献調査の内容をまとめた

#### 3) インタビュー調査の内容

- ・滋賀県O市立K小学校の教諭にインタビュー調査をした。

### 3. 結果と考察

O市立K小学校の琵琶湖遠泳の歴史は、明治45年に雄松浜で水泳教授が開始されたのが始まりであった。そこから遠泳の歴史は今に至っている。遠泳のねらいとして、各自の目標に向かってがんばって泳いだという感動や達成感を味わわせ、また、ふるさとの身近で美しい自然に関わり親しむことなどがあげられた。

### 4. まとめ

琵琶湖で遠泳を行うことが少なくなったが、遠泳をすることによって子どもたちには体力や精神力が身に付き、自然への理解も深まると考えられる。また、遠泳を行うことは、地域の人の補助も必要であり、地域の人々のつながりも重要になってくるであろうと考える。そのため琵琶湖での遠泳は今後も必要であることが明らかとされた。

#### 【引用参考文献】

- ・野尻奈央子（2008）「日本における競泳の変遷と歴史的背景について」．福井工業大学研究紀要．第二部 38, pp.95-100.
- ・柏木英一（1975）「歴史的にみた琵琶湖畔に於ける水泳とレクリエーションについて」．名城大学人文紀要．名城大学人文研究会．pp.1 - 13.
- ・滋賀県教育委員会事務局保健体育課（1983）「びわこ遠泳 指導の手引」.